

# 平和を求める祈りと祭典



평화를 위한 기도와 제전 / Prayer and Festival of Peace

命の叫びに応えて～日本軍「慰安婦」問題解決のために～



「ナムムの家」 / 日本軍慰安婦歴史館

## 【講師】梁澄子さん

(やん・ちんじゃ)

プロフィール：通訳・翻訳業、一橋大学などで非常勤講師。

1990年から日本軍「慰安婦」問題に関わる。

1993年提訴の在日朝鮮人「慰安婦」被害者宋神道さんの裁判支援をおこない、2007年にドキュメンタリー映画『オレの心は負けてない』製作。

現在、「日本軍『慰安婦』問題解決全国行動」共同代表、

韓国ソウル「戦争と女性の人権博物館(WHR) 日本後援会」代表。

共著書に『海を渡った朝鮮人海女』(1988年、新宿書房)

『朝鮮人女性が見た慰安婦問題』(1992年、三一書房)

『もっと知りたい慰安婦問題』(1995年、明石書店)

『朝鮮学校ってどんなところ?』(2001年、社会評論社)、

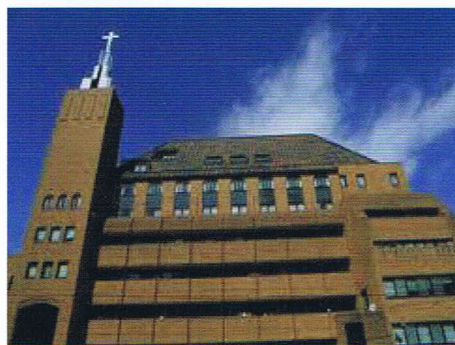
『オレの心は負けてない』(2007年、樹花舎)等。

【とき】2014年8月10日(日)

【ところ】在日大韓基督教会名古屋教会

7階 礼拝堂

名古屋駅を北へ徒歩5分。ホテルサンルート右折  
〒450-0002 中村区名駅 2-39-1  
TEL052-541-1980/FAX052-541-1982  
<http://www.kccj-nagoya.or.jp>



## 【プログラム】

- ◇15:00～開会礼拝
- ◇15:30～講演
- ◇16:00～私たちの平和の祈り
- ◇17:00～ピースカフェ  
(平和について語り合おう)

※どなたでも自由にご参加いただけます。  
 ※活動支援のための自由献金の時間があります。  
 ※韓国語の同時通訳があります。  
 ※한국어 동시 통역이 있습니다。

『愛国』の名によって社会の平和が壊されていくとき、寄留の外国人移住者や定住者がまず虐げられ、やがて社会のすべての人々の自由と人権が侵害される結果に至る。これは在日大韓基督教会中部地方会第43回定期大会(2006年)で採択された「平和を求める声明」で警告されていたことです。わたしたちはこのことを今や実際に経験し、衝撃を受けています。

「だからこそ今私たちは、この日本社会において小さな群れの中から、だれもが差別されずに共に生きる人権と平和を祈り求める声を上げるのです」との同声明文での訴えをもとに呼びかけられたことに応えて始まった「平和を求める祈りと祭典」をこれまで積み重ねてきました。

しかし、わたしたちの祈りに反して、現実には危惧する方向へといよいよ突き進んでしまっています。第二次安倍内閣の強引な政権運営を誰も制止することができず、ついには集団的自衛権行使の憲法解釈を閣議決定で強行するまでに至りました。

この現実の中で、日本の過ちがもたらした深い傷に触れ、被害者の命の叫びに耳を傾け、歩みを整え直したいと考えます。元日本軍「慰安婦」として日本の国家の罪責を追求し、戦争を再び起こしてはならないと訴えた宋神道(ソン・シンド)さんを長く支援してこられた梁澄子(ヤン・チンジャ)さんをお招きして、この問題解決のための一歩としたいと思います。

皆様の多数の参加をお待ちしています。

【主催】「平和を求める祈りと祭典」実行委員会  
<http://heiwanoiori.com>

【後援】在日大韓基督教会 中部地方会  
日本キリスト教会 近畿中会

【代表】島しづ子(日本基督教団 名古屋堀川伝道所)  
李大宗(在日大韓基督教会 名古屋教会)